

# Eureka X

六年制通信 No.20 令和4年9月30日(金)号

## 言葉に頼る

少し前の通信で人が勉学を続け、道を踏み外さず生きていくためには、拠り所とする言葉が必要だという話をしました。その時私は国会での麻生大臣の答弁を紹介しました。「朝は希望をもって目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝とともに眠る」は、一度聞いたら忘れられない、そしてこれからもずっと大切にしたい言葉ですが、簡単なようで実践するのは難しいですね。だからこそ何度も自分に言って聞かせなくてはならないわけで、この言葉にはそれだけの値打ちがある、私はそう感じています。

大切にすることは人によって違うでしょうし、それでいいのです。私たちは遺伝という与えられたプログラムを持って生まれます。親子の顔を見れば、肉体的な遺伝はわかりやすく理解できますが、私たちの個性と呼ばれるものの中にも遺伝的なものはあります。昔から「似なくていいところだけ似るんだよなあ」と親は子を見てため息をつくものですが、君たちは言われたことはないかな。肉体的な遺伝は仕方ない、気合を入れて背が高くなるわけでもないし、その他頑張ってもどうなるものでもないのですが、私たちの精神は変えていける、成長させていけると思います。つまり、自分たちのものの考え方や性格にも与えられたプログラムが存在しますが、それを自分の望むように上書きしていくことが可能です。それにはたくさんの時間をかけた知的作業が必要ですから、惜しむことなく時間をかけて、たくさん勉強をしなくてはなりません。そして少しずつ自分を鍛え、やがて世のため人のために仕事ができるといいですね。それを支えてくれるのが、拠り所となる言葉の数々だと私は思うのです。

これまでに先生に教えていただいた言葉、先生が雑談の中でふと漏らされた言葉、本で読んで知った言葉、友人から聞いた言葉、親から教えてもらった言葉、そんな数々の言葉が自分にとって大切な(あるいは大変な)局面で助けてくれましたが、勉強していくうちに、日本語以外にも拠り所とするに足る言葉が数多くあることを知りました。今日はその中から英語に限っていくつか紹介しますね。

**There is no royal road to learning.** (学問に王道なし)

これはすでに知っていますね。有名ですから。幾何学のユークリッドにエジプトの王様が「楽に幾何学がわかる方法はないか」と聞くのですが、その時の答えがこれです。「王道なし」とは「楽な道はない」と解釈しますが、王様は実際に道を移動するときも特別なルートを通る場合があります。もちろん一般の人々よりも目的地に安全かつ早く到着するわけです。それで **royal road** (王様の道) を近道の意味で使っているのです。ちなみに日本の総理大臣の車は信号待ちをしません。さて、何故でしょうか。

**There are no shortcuts to any place worth going.** (どんな場所であれ行くに値する場所に行くには近道などない) これはそのまま、学問に王道なし、と同じだね。

**It is never too late to learn.** (学問に遅参なし)

これは、今更勉強しても…、と考える人に伝えたい言葉ですね。

**Education is the key to the future.** (将来のカギを握るのは教育である)

これは自分が先生になってから、何度も思い起こしています。教育に絶望はない、そう昔恩師から教えていただきましたが、なるほど絶望したら将来もなくなりますよね。

**Great things never come from comfort zones.** (偉大なことは心地よい空間からは生まれない) 英英辞典によると **comfort zones** は「心地よく感じる状況。自分の能力を試されることのない場所」くらいですが、要するに安全地帯ということです。そんなところにいて偉大なことなどできるものか、ということ。若者を鼓舞する言葉ですね。

**There is no substitute for hard work.** (勤勉に代わるものなどない)

「昼は懸命に働く」、他に手はない。君たちの場合 **work** は勉強です。

**Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever.** (明日死ぬと思って生きよ、永久に生きると思って学べ) これはガンジーの言葉です。特に解説は必要ないと思います。私には前半の方が実践が難しいです。

### 今週のおすすめ

今回は映画です。戦争がテーマですが、いずれも名作です。しかし私は二度と観ないと決めています。どうして観ないかって、辛くて観てられないからです。

#### ・火垂の墓

これは君たちもよく知っているでしょう。毎年のように夏休みにテレビでやっていましたよね。私は苦手です。今のところ三戦三敗。三回観て三回泣いたわけですね。珍しく原作を読んでいません。どうせ泣くに決まっていますから。

#### ・ライフ・イズ・ビューティフル

これは予備知識なしに観ました。前にも紹介しましたかね。最初はコメディかと思ったのですが、さにあらず。ダサいと思っていた主人公の男性が息子と妻のために命を懸けた芝居をするのですが、さて、自分があの立場になったらできるかどうか…。最後の最後まで息子を助けるために演技を続ける父親に感動です。

#### ・ジョニーは戦場へ行った (Johnny Got His Gun)

これは、観た後、しばらく何もする気が起きなくて困ったことを覚えています。恋人を残して戦場に行ったジョニーが爆撃に遭って手足を失い軍の病院に収容されます。しかし、感覚をたどっていくと手足どころではない、見ることも話すことも聞くこともできなくなっていることに気づきます。唯一動く首を使ってモールス信号を送り続けるジョニー。そのことに気づく看護師長。ジョニーが彼女に頼んだこととは何だったのか。そしてジョニーの願いが叶いかけた時…。

上の二つは今観てもいいけど、ジョニーは成人してからの方がいいです。

BGMは JUJU の こたえあわせでした…。